

2023年 平 美 新 春 講 演 会

-40年の制作への過程を語る-

彫刻家・川島 慶樹氏



会場に展示された作品
「トウイグギ」の一部分



1962年大阪生まれ。
関西を中心に活動が続けなが
らスペイン他海外で制作と発
表を行う。

関西美術家平和会議恒例の新春講演会を1月29日(日)ガレリア・リバリア川島恵美子アトリエ(大阪市港区)にて開催しました。27人の参加者と休憩を挟み2時間の講演で、彫刻家・川島慶樹さんは40年の制作への過程を紐解き、プロジェクトを使って話されました。「置かれる場所の空間に変化が生まれるような作品が面白い」など作品と共に語られる多彩な話題を楽しみました。会場は話題に上った作品の数が展示されていました。

今も大学で指導され、自身の制作も旺盛に制作されている彫刻家の川島さんに、ご自身の作品も会場に展示し、講演して頂きました。

芸術への興味は、ご両親の影響でした。芸術家に、そのように育てられ恵まれた環境を十二分に与えて貰ったと語られ、制作年代を追って20



2023年2月

第40号

関西美術家平和会議
広報部発行

■事務局／〒530-0054
大阪市北区南森町2-2-14
TEL 080-8516-7205



0枚の作品の画像を使ってホテルの装飾品の依頼、施設のオブジェ作成など制作過程と意図等を紹介して頂きました。

「彫刻と絵画の隙間を埋めるような作品を作ると、自然な素材から取り組んだ。制作方法は、計画的には進めず、無駄が多く合理的でないが細部から進める。全体がぼんやり見えてくる。細部が全体を支配していく面白味がある。物の造形に人は、しつこいアプローチと潔さのバランスに反応する。」

また、新しい素材との出会いや海外での作品制作や

◆いろいろな材料を使って、試作しながら、作品を作っていく姿が印象に残った事、又、なぜ植物と金属がマッチするのかが解りました。公園や自然と作品が合っているので改めて彫刻が理解出来ました。

◆恵まれた創作環境にあ

参加者の感想

①

作品売却の様子を話され、日本では購入の対象にならない大きな作品が購入される風土の違いや、イタリアの川原で3ヶ月に及ぶ石を削るアートイベントでの滞



会場に展示された作品

在で芸術家に対する隣人的な気さくな接し方の違い等を紹介されました。

講演後の質問に対して、作品制作で何を求めているのかの問いに、「登山に例えるとルートは決めずに闇雲に頂点を目指している。ただ下草を刈り進んでいく。その先に見える何かがあると思っている。花のモチーフについては、繰り返して作っている。繰り返すことで残る形を自分のアイコンとして大事にするようになった」と思いを語られました。

(文責広報部)

ると自身の言葉にもあったが、大作においても圧倒感がなく、置かれた場所に溶け込む作品と本人の気負いのないおあらかさを羨ましく感じた。雄弁に諭す芸術も凄いが、大上段に構えず、そっと寄り添い身近な何かを気付かせる大切さを感じた。

◆たまに寄り道も大切だと思いました。

参加者の感想 ②

◆大阪の身近なところに

素晴らしい芸術家が居ることとを、今日初めて知りました。講演会の前にネットで調べました。小品を自宅に置いてよいかなと思いましたが。作品展があれば行きたい。

◆異素材を組み合わせて

作成されていることに感心

しました。海外にもたくさん作品が置いてある。なんて素敵なんでしょう。

◆展示の彫刻から生命力

のある不思議な植物がそこに存在するような、遊びと錯覚の世界を感じました。

◆ガレリア・リバリアの

入口にあるフロンズの花模様、繰り返し、繰り返し製作される作品の中から

語り継ぐ戦争画 田中彰治郎さん

水彩画で関西平和美術

展に出品されている田中さんは、従軍画家が戦意高揚のため描いた戦争画を利用して「戦争はあかん」と講演をされています。



2018年に自宅で義

父の残した戦争画集を見つければ「家族に話さなかつた戦争とは何かを知りたい」と関係の書籍を調べ「実相を伝えなければ」と講演を始められました。

展示用の複製画の貸し出しや過去の講演のDVDなど無料配布されています。

(連絡先090-3943-1835 又は、関西平和会議事務局)

自らのアイコンとして生まれたものを知り、興味深かったです。

◆植物をモチーフとした

作品が並ぶ中でのお話に説得力がありました。気持ちのよい時間でした。

◆制作を若い頃から、育

ちから、力まず自然体で語られていて、聞きやすく、時々お母様の顔が浮かんだ。作業そのものは、とても時間と根気のいる大変なことをされると聞いたが、作品群はどれも明るく優しい。



壁面に展示された絵画作品

護憲の運動を

続けて

2022年のメモから

米澤 俊

清恵

2014年7月当時の安倍内閣は戦後歴代自民党政権が憲法9条の下で認めてこなかった集団的自衛権を容認する閣議決定を行いました。反対する民の声を無視して、翌年9月に安保法制を強行しました。

私達の地域では9条の会の集会や改憲反対の署名活動、二コースも発行していました。この9条の会と母親連絡会の女性達が、作家澤地久枝さんの呼びかけに応じてその年の11月3日(憲法公布の日)に「憲法を守ろう」とストリートアピールを始めました。澤地さんから送られてきた俳人の金子兜太氏の「アベ政治を許さない」という揮毫(きこう)をFAXで取り出して、20人ほどが思い思

小さな美術館めぐり ⑧

大阪暮らしの今昔館

今回は平美事務所の目と鼻の先にある展示場をご紹介します。メトロの堺筋線天六駅のビル8階にあります。年末で外国人や学生さんらで賑わっていました。

まず8階に上がって入場を済ますと、いきなり昔の町並みが現れてびっくり！本格的な実物大の大屋根に、火の見やぐらが高くそびえ、模型とは思えぬ精巧さで江戸時代らしき商家の商いの様子に引き込まれました。呉服店、小間物屋さん、お風呂屋さんなど、丁寧に



風呂屋

(中村宏子)

いのでプラカードを作って有田川町庁舎近くの交差点に集まりました。以来今年で8年目、毎月3日午後1時から30分間ですが一度も休まずプラカードを掲げ、走っている車のドライバーに向かって手を振り続けています。今年の5月3日は「ウクライナの平和と憲法9条を守るための行動」に多くの人達が参加しました。手を振って応えるドライバーも増え、町の人達にも「あそこやっているね」と認知されるようになりました。

各団体がよりよく展覧会を開催していくために 大阪市立美術館と定期協議重ねる

工事について (回答は美術館 課長)

●工事の概要は本館の老朽化の心配から改修を計画。地下展示室も関連で工事が必要。本館工事了は2024年3月末予定。地下展覧会室は本館工事了後着工し、工事施工者は新たに入札を行う。

要 望

- Q美術館工事の工程の詳細提示を (回答) 工程・図面も提示できない
- QWi-Fi (回答) すでに設置 Qエレベーターホール・階段の改善は (回答) 未定
- Q壁面、床面の美装は (回答) 検討、間仕切りは現状通り
- Q搬入時のエレベーター使用は (回答) 不可
- Q搬入口の屋根の設置、通路拡張 (回答) 不可
- Q美術館主催のオープニングの美団連美術展開催 (回答) 厳しい
- Q大規模改修 (回答) ご意見として参考にする。

美術館から

- 2021年度の利用団体向けにアンケートを今冬実施
- ▼2025年度以降の使用意向 (時期・利用室数等)
- ▼美術館休館中の団体としての活動状況▼団体としての課題▼コロナの影響
- 募集スケジュール
- (2023. 7) 募集開始 (2023. 9末) 確定
- (2024. 10) 地下展覧会室改修工事
- (2025. 4) 地下展覧会室オープン予定
- (協議報告要旨 数内)

Q 美団連とは

A 大阪美術団体連絡協議会と言います。関西平和美術展を主催している関西美術家平和会議も参加しています。参加団体は30の美術団体、2年毎に3団体が順番に幹事団体になり、美術館と協議をしています。協議内容は毎年の総会で報告されます。美団連は大阪市立美術館と毎年定期的に協議を重ねて、各団体がよりよく展覧会を開催していく為に問題を解決していくことを目的としています。



大阪市立天王寺美術館

告がありました。美団連が美術館研究所、関西美術家連盟と直ちに抗議し、その他の団体やマスコミ等市民と共に反対運動を起こして美術館からの美術団体排除を撤回させて現在に至っています。

(数内)

戦争に思う 2

米澤 俊

日本に帰国してからもう、また大変でした。父は、シベリア抑留で、帰国出来なため、母親の手一つで子どもたちを育てなくてはなりません。

初めの仕事は、傘張りでした。傘骨を広げて和紙の油紙を張っていくものでした。材料は業者が持ち込んでいたと思います。借家の

庭で干し、乾くと取り入れて乳母車一杯になると、街なかの傘屋さんへ届けました。運ぶのは、私の役目でした。一年生でしたから、乳母車を押して、片道1、2時間ほど掛かって届けていたかな？

満州からの帰国は、日本人学校の一年生の時だった。国境の町から一年ほど掛けて「口島」につき、「口島」から輸送船に乗って博多の港に着いた。父の里に来て、地元の小学校に入学するにあたって、とても授業についていけないところから、家族の相談で一年生からやり直すことになったのです。

余った教科書はなく、友達から借りて国語などの教科書を丸ごとノートに写しました。学校へは、モンペと作業衣のような上着で、靴はなく、草履で通いました。宿題はこなしていたようです。後は、遊んでいるか、

親の手伝いをしていたかな？ 三年余りしてシベリア抑留から父が帰ってきてからは生活が落ち着いてきたように思います。

完

予告

2023年第71回関西平和美術展
堺市立文化館ギャラリー
会期 7月26日(水)～30日(日)

「軍拡より暮らしや文化を守れ」 23年度関西美術家平和会議総会終わる

2023年度関西美術家

平和会議総会を昨年末に行い、役員の変更をしました。

総会は戦争反対の思いを強くして今後の平和を守る取り組みを確認しました。

また、特別決議として関西美術家平和会議総会名で内閣総理大臣宛に、下記の抗議文を打電しました。

「安保3文書の閣議決定の撤回を求めます。軍拡より平和憲法で暮らしや文化を

守ってください。」

美術をとおした平和運動

や、会が主催する関西平和

美術展・写生会・講演会な

どをいっそう充実させるた

めに、平美展出品者とも

に力を尽くして、その中で

関西美術家平和会議も紹介

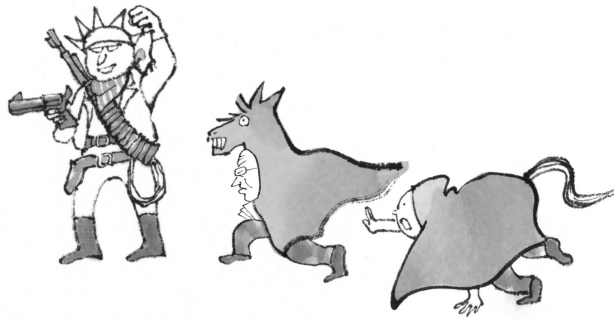
することなどの申し合わせ

をしました。

ご入会にはTEL090-3279

-0623まで

(篠瀬)



安保3文書、よくやった！
首相、そんなにわかりやすくアメリカに
すり寄ったらバレル

ミシマ アユミ

核兵器禁止条約が発効して今年1月22日で2年になります。1月現在署名国は92か国、締約国は68か国になりましたが、唯一の戦争被爆国の日本政府は署名も批准もしていません。政府に禁止条約への参加を求める地方議会の意見書は全議会の36%を超えています。

速やかな 核兵器禁止条 約の批准を

ロシアのウクライナ侵略で核兵器使用の危険もある中、政府の速やかな調印・批准を求めます。我々も更に署名を増やしましょう。現在、約350筆毎月6日または9日に上六での署名活動に平美も参加しています。(山中成子)

*お知らせ 今年春のスケッチ会の実施を予定。詳細は後日に。

黒部 正廣 (デザイン)

絵本創作名は「熊千尋」

です。かんさい絵本の学校を軸に活動をしています。大阪市西区の京町堀「あ」という喫茶店で土曜日、絵を描いています。

今年9月「おはなしの繪」(同グループ展)10

月あきよし姉妹展&熊千

尋展開催予定です(いず

れも同喫茶店)。

関西美術家平和会議 新会員紹介

星野 智 (絵画)

自分にとって美術家平和会議は、吉田利次さんでした。退職後、絵を描きだした時、ガレリアで吉田さんの絵に遭遇しました。炭坑や海で働く人々の姿を描いた作品は、描く意味をストリートに伝えてきました。模索していた中で霧が晴れたように。

最近、地域の知人から吉田利次作品集を見せて貰いました。画集の奥付



私が思うのは「関西平和美術展」は若い人にあまり知られてへんと思うので、まず知ってもらうこと。広げることに挑みたいと思います。

新会員紹介

には平和会議メンバーの方々が名を連ねられていました。一緒にさせてもらえるとほんと光栄なことかと。固まった筆を筆洗いに漬けながら、改めて初心を思い出しています。



平美ホームページ 担当者日誌 ②③

抑止力って威嚇と同じって聞きました。憲法9条は「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇

又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とあります。軍拡は国民への裏切りですね。

平美ホームページのアクセス数が11,000を超えました。平美展担当者としては、庶民を苦しめる物価高・増税やカジノ・万博などのごり押しで、もやもやしている中でちよっと嬉しい出来事です。

個展等の情報などはホームページの「問い合わせ」から投稿の待ちしています。平美展出品者による交流の場にしていただければ幸いです。

(篠瀬)